



ザンビアの経済概況・月報(2016年5月)

主なマクロ経済指標	2015年	2016年
1. 人口 (百万人)	15.72(2014)	-
2. 人口増加率 (%)	3.15 (2014)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	27,070(2014)	-
6. GDP成長率 (%)	3.5(proj)	3.8(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,680(2014)	-
8. インフレ率 (%)	10.1	21.3(May)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	155.82	182.68(May)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-540	-225.94*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-26.90*4	-6.04*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	7,097.00	2075.62*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	46.34*4	7.64*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	7,637.00	2301.55*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	73.24*4	13.68*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-360 (2014)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-213 (2014)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	2,484(2014)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,968	2,372(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,373(2014)	-
21. 為替レート (対米ドル)	10.98ZMW(end-period)	10.05ZMW(May)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	15.50 (May)

※() 内の年月は、その年あるいは月の確定値／予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

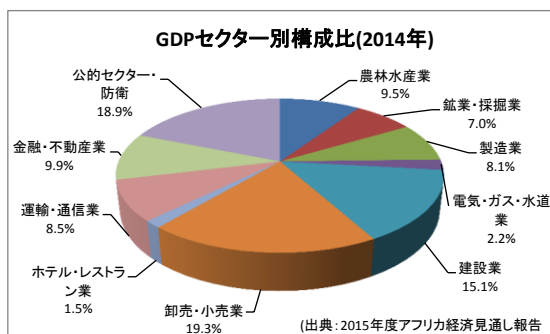
*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2016年1月から4月までの累計額。1USD=10.89ZMW (2016年4月までのザンビア中央銀行が替相場月間平均)を用いて換算
*3	2016年1月から4月までの累計額。1USD=120円 (2016年4月までの日銀基準外国為替相場月間平均)を用いて換算
<2016年4月>	
主要輸出品目: 銅／その他鉱物／コバルト／金(半製品)／発煙硫酸	
主要貿易相手国(輸出): スイス 34.3%, 中国 22.0%, シンガポール 12.3%, コンゴ(民) 6.8%, 南アフリカ 6.5%, その他 18.2%	
主要輸入品目: 銅／携帯回線用及びその他の無線回線用電話／石油及び瀝青油(原油に限る)／コバルト／軽油	
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 34.8%, コンゴ(民) 14.2%, 中国 8.6%, モーリシャス 6.3%, クウェート 4.9%, その他 31.3%	
*4	1USD=121円 (2015年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典> 1, 2, 5-7, 8(2015), 20(2015):World Bank／3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO& Ministry of Labour and Social Security)／4, 16:The World Factbook (CIA)／8(2016), 9, 10(2016), 12(2016), 14(2016): Monthly Bulletin (CSO)／10(2015), 12(2015), 14(2015), 19, 21(2015): Country Report 2016 (EIU)／11, 13, 15:日本国財務省貿易統計／17, 18:UNCTAD／21(2016), 22:Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典:ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(5月)

1. “2015/2016年のザンビアのメイズ収穫量、余剰となる見込み” (Lusaka Times, 4日)

ルビンダ農業大臣は、『2015/2016年主要穀物収穫量予測調査』の結果によると、当該期間のメイズの収穫量が増加する旨発言した。3日、同大臣は、今年のメイズの収穫量が前年比9.7%増の287万3, 053トンと予測されている旨明らかにした。

2. “ルング大統領、3億米ドルの鉱山シャフトの操業開始式に出席” (Daily Mail, 6日)

5日、ルング大統領は、モパニコッパーマインズ(MCM)所有のンカナ鉱山(於: キトウエ)における総額3億2,300万米ドルの鉱山シャフトの操業開始式に出席した。同大統領は、ザンビア政府が世界経済のショックに左右されない経済多角化プログラムを追求しているゆえに、同政府が鉱山の操業を維持させる旨保証した。

3. “ルング大統領、12億米ドルの太陽光発電所計画を開始させる” (Daily Mail, 8日)

7日、ルング大統領は、ルサカ南部複合的経済特区(LS-MFEZ)にて、ザンビア初となる総額12億米ドルの太陽光発電所(100メガワット)の建設計画を開始した。世銀による太陽光発電関連プログラムがアフリカ内で履行されるのはザンビアが最初(ザンビア産業開発公社(IDC)及びIFCが協働)となる。

4. “FQM、改正鉱物鉱山開発法を支持” (Times, 9日)

グラッドストン・ファーストクワンタムミネラルズ(FQM)社政務部長は、ザンビア政府による鉱山使用税の改正を歓迎し、同改正が適切な方策であると述べたうえで、各鉱山企業がザンビアにて活動を続け、かつ同セクターに対するより多くの投資がなされるよう、ザンビア政府による取組が更に求められる旨発言した。6日、鉱山鉱物開発法は国民議会にて可決され、新鉱山税制が4月1日にさかのぼって施行される。また、銅鉱山の鉱山使用税は、ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて4%から6%の間を変動する。

5. “ザンビア中銀、3金融機関を差し押さえ” (Times, 10日)

ザンビア中銀(BoZ)は、破産の疑いのある3金融機関を買収した。マヨンディBoZ広報部長は、(1) Cetzam Financial Services Plc, (2)Genesis Finance Limited, 及び(3) Commercial Leasing Zambia Limitedが直ちに買収された旨発言した。

6. “ザンビア、7億米ドル以上の投資プレッジ額を得る” (Daily Mail, 16日)

ザンビア開発庁(ZDA)は、ザンビアの良好なビジネス環境を背景として、2016年第1四半期に7億2, 000万米ドルの投資(プレッジ)を誘致した。なお、2015年同期の投資プレッジ額は2億8, 7000万米ドル。13日、チサンガZDA長官は、同時期の投資プレッジ額について、ザンビアにおける投資家の信頼が引き続き強固であることの表れであると述べた。

7. “サウジアラビアと安価な燃料取引で合意” (Daily Mail, 18日)

シリヤ・エネルギー水開発大臣は、サウジアラビアによるザンビアへの2,000万米ドル相当の安価な燃料供給が国庫の逼迫した状況を緩和し、国内の燃料価格高騰を防ぐと述べた。同大臣は、ジッダで記者団に対し、サウジ開発基金による5年間の特惠的資金供給が、電力及び石油部門で困難な状況にあるザンビアにとって非常にタイムリーなものであると述べたうえで、今回のサウジアラビア訪問は、ルング大統領による最初の、そして極めて戦略的な訪問である旨発言した。

8. “ルング大統領、アフリカ開発銀行(AfDB)のエネルギー政策を賞賛” (Daily Nation etc, 25日)

24日、ルング大統領は、アフリカ開発銀行(AfDB)年次総会の開会式にて、アフリカにおける産業化が進展するにつれて、電力にかかる課題が明白となるであろう点を指摘したうえで、アデシナAfDB総裁及び「ニューディール」(当館注: アフリカのエネルギー普及のための新政策)を開始した同行のチームに祝辞を述べた。また、アデシナAfDB総裁は、同行がハイファイブと呼ばれる開発優先課題(当館注: アフリカの電力化、食糧増産、地域統合、工業化、生活の質向上の5つの目標が掲げられている)を通じて、アフリカにおける様々な期待水準を高めてきた旨発言した。